

# 平成27年度

## 登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

### 中国ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
  - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
  - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。  
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
  - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

**問題 1** 登録基幹技能者が建設現場で行うマネジメント技術に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 他職種の職長等に対して、前工程・後工程に配慮した連絡調整を行う。
2. 元請技術者に対して、施工方法等の指示を行う。
3. 部下の技能者に対して、作業方法、手順等の構成を行う。
4. 部下の技能者に対して、建設現場において適切な配置を行う。

**問題 2** 左官技能者の発展段階を述べたものに関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 建設現場における直接施工に従事する左官技能者の発展段階は、大きく3つに分類できる。
2. 登録左官基幹技能者は、発展段階における最上位の職長を示すものである。
3. 発展段階における初級左官技能者は、職種に対応した資格を有し、優れた直接的施工能力を持っている。
4. 左官の職長は、担当工事現場の責任者として工程・施工・安全等の管理と作業の指揮・指導を行う、登録左官基幹技能者になりうる資格を有するものである。

**問題 3** 元請会社の建設現場事務所に備えてある施工体制台帳に記載できる事項に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 下請負人の会社名等
2. 工事名称等
3. 元請会社の現場代理人名
4. 元請負人の登録基幹技能者名

**問題 4** 元請企業団体における登録基幹技能者の評価・活用の組み合わせに関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. ゼネコン A 社 — インセンティブ制度
2. ゼネコン B 社 — B 社マイスター制度
3. ゼネコン C 社 — C 社優良職長制度・マイスター
4. ゼネコン D 社 — コンストラクション・マイスター制度

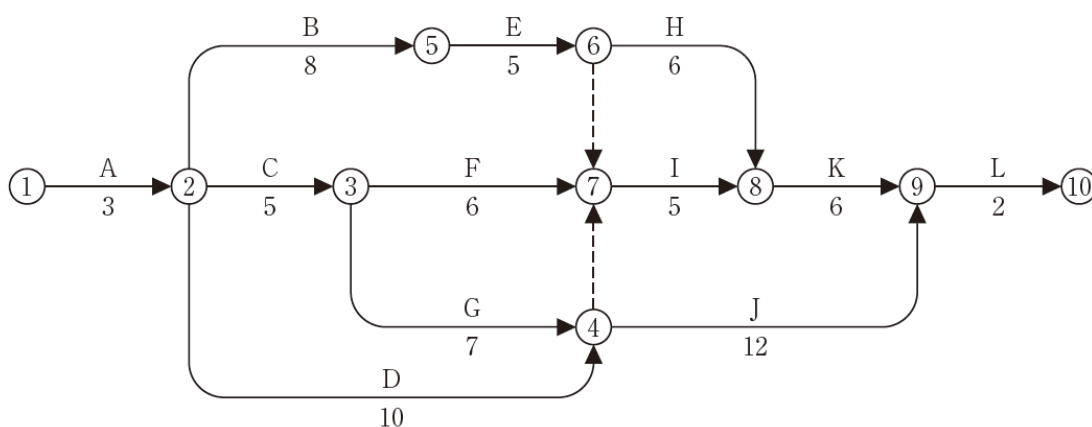
問題5 元請ゼネコンの登録基幹技能者における優秀職長または優秀職長手当制度に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者に手当を支給することになった要因としては、有資格者であることが一定の能力を担保している目安となっていることが挙げられる。
2. 登録左官基幹技能者に手当を支給することになった要因としては、左官技能者が困窮に陥っていることが起因し、その給与体系の改善を目的とすることが挙げられる。
3. 登録基幹技能者に手当を支給することになった要因としては、日建連の提言に対する呼応が挙げられる。
4. 登録基幹技能者に手当を支給することになった要因としては、国土交通省や建設業界の取組みに対する呼応が挙げられる。

問題6 OJT教育における指導方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 作業を「やらせてみる」前に「教える」ことが優先する。
2. やってみせて見習わせることが効果的である。
3. 失望は成長の原点である。
4. 部下が進んで自己啓発に励むように動機づけすることが重要である。

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表は、ネットワーク式工程表である。
2. この工程表のクリティカルパスは、A→C→F→I→K→Lである。
3. この工程表の-----▶は、ダミーを示している。
4. この工程表における工事の工期は、30日である。

問題8 建設業法遵守ガイドラインに記載されている項目に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 見積条件の提示：建設業法第20条第3項
2. 不当な使用資材等の購入強制：建設業法第19条の4
3. やり直し工事：建設業法第18条、第19条第2項、第19条の3
4. 経営状況の開示：建設業法第18条、第19条、第19条の3、第20条第3項

問題9 建設工事標準下請契約約款の「建設工事下請契約書」に記載されている内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 下請負人の主任技術者名
2. 工事場所
3. 前払金の時期と金額
4. 引渡し時の支払いの時期と金額

問題10 ブレーンストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BSとは、グループのメンバーが、ある問題について自由にアイデアを出し合うことである
2. BSでは、上司の意見を聞いてそれに従うこと、あるいは他人の意見に上司のアイデアを加えて新しい意見としてまとめることが良くある
3. BSでカード化された多くの意見・アイデアをグループ化し、論理的に整序して問題解決の道筋を明らかにしていくために特性要因図が用いられる
4. BSを行う際には、「質より量」が原則であり、できるだけ多くのアイデアを出すことを優先させる

問題11 劣化のメカニズムに関して、最も不適当なものはどれか。

熱冷ムーブメントとは、塗りつけられたセメントモルタル等に1. 太陽の直射熱や2. 昼と夜の繰返しの温度変化に伴って3. 伸縮、反り等の変形挙動がおきることである。または、これを4. モイスチャームーブメントともいうことがある。

1. 太陽の直射熱
2. 昼と夜の繰返しの温度変化
3. 伸縮、反り等の変形挙動
4. モイスチャームーブメント

問題 1 2 仕様書等の組み合わせに関して 最も不適当なものはどれか。

1. 左官施工法 2013 — (一社)日本左官業組合連合会編
2. 特記仕様書 — 標準仕様書で指示しえないその工事のみの仕様
3. 建築工事標準仕様書 JASS 15(左官工事) — 日本建築仕上学会編
4. 公共建築工事標準仕様書 — 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

問題 1 3 塗り壁の故障の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 下地の吸水大 — はく離・ひび割れ — 吸水適正化を計る。
2. 塗り厚不同 — ひび割れ — 一度に厚塗りする。
3. 混合不良 — 上塗りの色むら — ミキサーを使用して十分な練り時間を取る。
4. さび止めしない鉄部 — さび発生 (せっこうプラスター) — さび止めを行う。

問題 1 4 ラスと構法の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

表 JASS 15 2007

◎：望ましい組み合わせ ○：適用可能な組み合わせ △：条件により適用が可能な組み合わせ ×：好ましくない組み合わせ						
	種類 (700g/m <sup>2</sup> 以上)	木造			鉄骨造	
		直張り工法通気構法二層下地構法		通気構法単層 下地構法		
		内装	外装	外装	内装	外装
1.	平ラス	◎	×	×	×	×
2.	波形ラス	○	×	×	×	×
3.	防水紙付きリラス	○	△	△	○	○
4.	リラス	○	△	△	◎	◎

**問題 1 5 住宅瑕疵担保責任保険 設計施工基準における外壁の防水に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 通気構法の外壁に用いる防水紙は、JIS A 6111(透湿防水シート)に適合する透湿防水シートまたはこれと同等以上の透湿性能および防水性能を有するものとする。
2. 防水紙の重ね合わせは、縦、横とも 90mm 以上とする。
3. 直張りの防水紙は、JIS A 6005(アスファルトルーフィングフェルト)に適合するアスファルトフェルト 430 または透湿防水シートとする。
4. 外壁開口部の周囲は、防水テープを用い防水紙を密着させることとする。

**問題 1 6 単層下地通気構法に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 防水紙の施工は、透湿防水紙を横方向に下部から上部に積み上げる鎧張りを原則とし、重ね幅を 90mm 以上とする。
2. 防水紙の継ぎ目部は、300mm 程度の間隔で留めつけ、その他の部分は、たるみ・しわが生じないような間隔で留める。
3. ラスは、壁面ごとに建築物の下部から上部に張り上げ、横方向へ千鳥張りにし、横方向の接合は 20 mm以上 70 mm以内に重ねる。
4. 出入隅部では、突き合わせとし、平ラス 1 号 (450g/m<sup>2</sup>以上) を 90 度に曲げて、下張りをしたラスの上から固定する。

問題 17 コンクリート表面の処理方法に関して、最も不適当なものはどれか。

枝番	処理方法	適用目的	概要	留意点
1.	高圧水洗浄	目粗し、脆弱層の除去	高圧水洗いの吐出圧力50～150N/mm <sup>2</sup> 、吐出圧と運行速度は、コンクリート強度などによる。	必要な粗さを設定でき、作業者によるばらつきが少なく、施工管理が比較的容易であり、下階への水対策を検討する必要がある。
2.	サンダー掛け	目粗し、脆弱層の除去	ディスクグラインダーによって、コンクリート表面の目粗しをして、表面に付着した粉塵を水洗いにより除去する。	特別な工具を必要とせず、作業は複雑であり、埃や音の発生がある。施工のばらつきが少ないが、見本などを作製し管理する。
3.	ブラシ掛け	清掃、脆弱層の除去	デッキブラシあるいは、ワイヤブラシによりコンクリート表面を擦り、塵埃や脆弱層を除去する。	作業は簡単だが、施工管理が曖昧となりやすい。水洗いを併用する。
4.	専用シートによる凹凸処理	コンクリート表面への凹凸付与	ポリエチレンフィルム製専用シートを型枠に取り付け、コンクリート表面に凹凸を付与し、それがモルタルに食い込むことにより、はく離を防止する。	専用シートの廃材が発生するため、その処理対策を講じておく必要がある。

問題 18 左官工事に要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 真壁づくりの京壁または漆喰壁では、ちりがそろっている等の仕上げ面が平坦であること。
2. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、左官作業性などの性能を備えていること。
3. 色調平滑度または粗面度等の仕上げ面の状態が、壁全面に一様であること。
4. 各左官材料に対応した必要強度と適切な表面硬度を有すること。

**問題 19 施工管理の内容に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 施工計画とは、工事施工に当たり様々な制約の中で、設計図および工事仕様書などから、施工手段をどのように組み合わせて目的物を完成させるかについて立案し実行するものである。
2. 原価管理とは、工事が円滑に進むよう、材料費や労務費を管理することである。
3. 工程管理とは、工事が予定通り行われているか、また遅れている場合はどこに原因があるかを細部にわたり確認することである。
4. 品質管理とは、発注者の要求した構造物の形状や性能、品質のものが作られているかを確認することである。

**問題 20 製作材の発注プロセスに関して、最も不適当なものはどれか。**

1. メーカーとの製作打合せに際しては、仕様書および設計図書記載事項を理解するとともに、客先の意向や現場での施工上の納まりを十分に考慮し、それらの情報を正確にメーカーに伝える必要がある。
2. 製作図の提出は、製作工程に支障を及ぼさないように、早めに打合せをし、作成を依頼するようにする。
3. 製作図を確認したら速やかにメーカーに製作を依頼し、納入時期の確認も併せて行う。
4. 資材搬入時には、設計図、仕様書に合致しているか、製作図通りに製作されているかなどを確認する必要がある。

**問題 21 実行予算に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 受注できた後に、各種の具体的な施工計画を立て、発注先別のくくりで整理する。
2. 工事を実行するのにかかる費用をできるだけ精密に予測・算出する。
3. 積算段階での見込みや、標準的な単価等を根拠に作成する。
4. ゼネコンが行う原価管理での基準・目標とする。



**問題 2 2** コンクリートに発生するクラック防止対策に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 一般的に、壁に取り付ける誘発目地は、柱側からできるだけ離して配置する。
2. 柱、梁などの主要構造物よりも断面が小さい壁には、クラックが発生しやすいため、適度に誘発目地を配置する。
3. 基礎部分などの大断面のコンクリート構造物は、コンクリート内部の熱膨張により、低温の表面部が引っ張られ、ひび割れを起こすことがある。
4. コンクリートのひび割れは、急な温度変化に影響されやすいため、シート等で養生を施すと効果がある。

**問題 2 3** わが国の建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 建設業の安全対策が難しい理由の一つとして、作業内容が日々変化するため作業員の作業の慣れによる安全効果が期待しにくいことが挙げられる。
2. わが国の建設業における近年の死亡者数は、年に 1200 人前後である。
3. 建設工事全体の死亡事故の型別でみると、墜落による事故が 45%と圧倒的に多い。
4. 脚立の墜落高さは 2m 以下と高くはないが、墜落時に頭を打って死亡するケースが多い。

**問題 2 4** 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 複数業者が混在する現場の 2 次下請けの業者は、安全衛生責任者を選任する必要がある。
2. 労働者数の合計が 80 人で複数業者が混在する現場では、統括安全衛生責任者を選任する必要がある。
3. 型枠支保工の組立は作業主任者の配置を必要としない作業である。
4. 現場では、整理、整頓、清潔、清掃の「4S」に努め、廃棄物は決められた場所に捨てることを徹底する必要がある。

**問題 25** 各種労働災害防止対策について次の記述のうち、最も不適當なものはどれか。

1. 既存建築物は石綿が使用されているものも多く、その建築物の解体工事では石綿による健康障害防止対策を講じる必要がある。
2. 熱中症予防対策として、WBGT（暑さ指数：湿球黒球温度）値を使用することが有効である。
3. 居ながらリフォーム工事では、電気やガスなどを止めずに作業を行うので感電やガス爆発に注意する必要がある。
4. 高さ 3.5m の所で 足場作業や鉄骨作業などを行う場合、命綱を使用すれば作業床や落下防止ネットを設置しなくとも良い。